

平成29年度

時間外電話相談  
「育児もしもしキャッチ」  
—相談情報分析結果報告—

あいち小児保健医療総合センター

あいち小児保健医療総合センター保健センターでは、平成13年11月のオープン時より、県民の育児不安を軽減し、健やかな子育てを支援することを目的に、時間外電話相談「育児もしもしキャッチ」（以下、「育児もしもしキャッチ」）を開設している。

開設当初は、月曜日から金曜日まで開設していたが、当センターの外来診療日の変更に伴い、平成15年5月より火曜日から土曜日に相談日を開設している。

#### 「育児もしもしキャッチ」

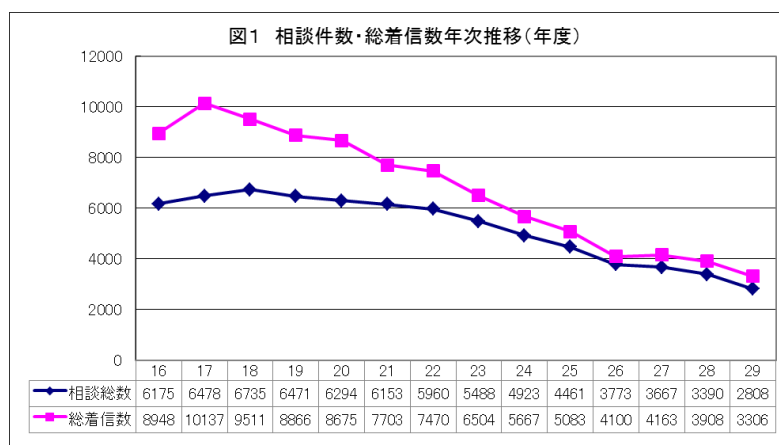
主な相談内容	母子健康手帳を活用する年齢層の母等を対象に、健康や育児について
開設日時	火曜日から土曜日 午後5時から午後9時まで（4時間）
相談担当者	保健師、助産師、看護師等の専門相談員が、毎回3人で応対
相談体制	当センターの保健師1名が相談終了まで勤務する体制を取り、困難な相談への助言、連携の必要なケースを地域に繋ぐ役割等、相談員をバックアップしている。
相談記録の記載方法	相談は原則匿名としているが、相談終了時に相談者の居住地域、相談経路を聞いている。電話相談員が相談記録を記載し、予め設定されている「相談内容分類コード」に従い内容の分類を行っている。

#### 【平成29年度の事業内容】

平成29年4月1日から平成30年3月31日までに寄せられた相談情報を保健部門のシステムに入力し、地域別利用数や相談者、相談時間、相談内容等に注目して分析した。

#### 1 相談総数・総着信数について

期間中の相談総数は2,808件、総着信数（電話に応答中のため応答できなかった件数をあわせたもの）は3,306件であった。間違い電話等67件は除いている。今年度は、相談日をこれまでより週1日少ない水～土曜としたため、相談件数は昨年度より582件と大きく減少した。平成14年度



（平成13年11月から平成15年3月、以下平成14年度と表記）以降の相談件数は、平成18年度まで増加し、その後は平準状態となり近年は減少の傾向にある。また、平成17年度がピークであった対応不能件数が減少してきており、今年度の対応不能件数は498件で昨年度の518件より20件減少した。依然として1割強（15.1%）の相談に対応不能の状態である（図1）。



(11.7%)、保健所からが 51 件 (1.8%) など、保健機関からの情報によるものが初回相談者の半数以上を占めている。インターネット、スマートフォンの普及によりホームページからの情報が 275 件 (9.8%) で、その割合は平成 24 年度より漸次増加している。また、県外からの相談 22 件のうち 5 件 (22.7%) がホームページからの情報であった (資料：表 2、図 4)。

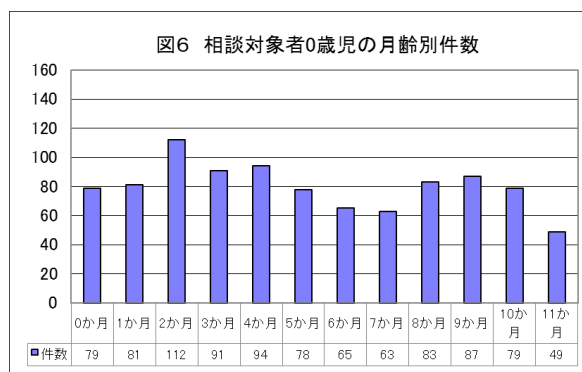
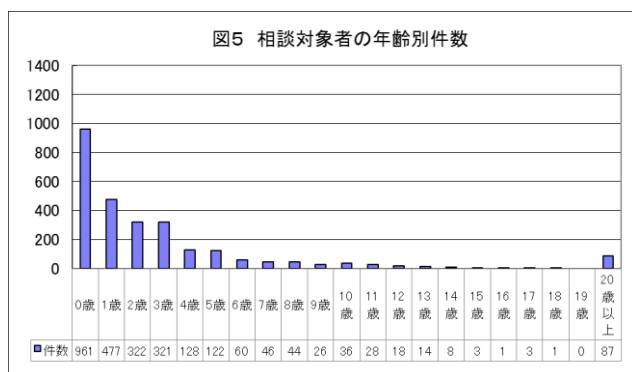
### 3 相談者・相談対象者について

相談記録では、相談者 (電話をかけてきた人) の続柄を相談対象者との関係から本人、母、父、配偶者、祖父母等、兄弟、専門職等、その他と分類しているが、母からの相談が 90.2% と最も多かった (資料：表 3)。

相談対象者は「子ども」が 2,646 件 (94.2%) であった。「孫・甥・姪等」が 12 件 (0.4%)、「本人」(母自身のことに関する相談など) は 141 件 (5.0%) であり、経年的にみてもほぼ同様の傾向であった (資料：表 4)。

相談対象者の年齢では、0 歳が 961 件 (34.2%) と最も多く、次いで、1 歳が 477 件 (17.0%)、2 歳が 322 件 (11.5%)、3 歳が 321 件 (11.4%) で、2 歳以降の対象者に関する件数は、年齢の上昇に伴い減少していた (図 5)。

0 歳児の内訳を見ると 2 か月頃をピークに増減しており、経年的に見てもほぼ同様の傾向であった (図 6)。



### 4 相談の時間帯・所要時間・曜日について

#### (1) 時間帯・所要時間について

相談の時間帯は 17 時台 835 件 (29.7%) と最も多く、次いで 18 時台が 708 件 (25.2%) であった。

相談の所要時間は、15 分未満が 1,980 件 (70.5%) で、5~14 分が 51.4% であった (資料：表 5)。

相談内容により、所要時間は異なり、子どもの病気・手当や事故相談では平均して時間が短く、育児不安を含む家族・人間関係や教育、母自身の相談である女性の体と心の相談等では、所要時間が長くなっている。

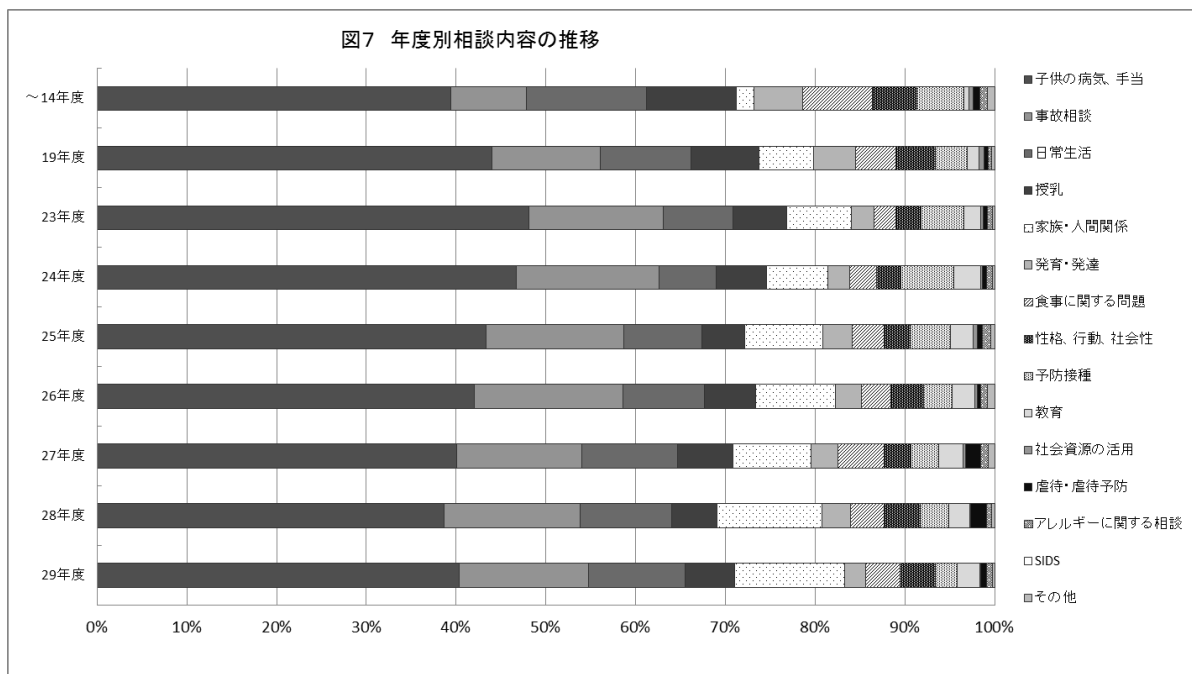
#### (2) 曜日について

1 日あたりの相談件数でみると木曜日が最も多く (15.2 件)、水曜日 (15.0 件)、土曜日 (13.4 件) の順であった (資料：表 6)。曜日別相談内容では、「子どもの病気、手当」「家族・人間関係」で曜日により違いがみられた (表 8)。

## 5 相談内容について

### (1) 相談内容について

相談員が相談記録作成時に分類した相談内容では、「育児相談」が 2,672 件(95.2%)と大半を占め、次いで母性相談 59 件 (2.1%)、家族の心と体の相談 20 件 (0.7%)の順であった。(資料：表 7)。



「育児相談」2,672 件の内訳は「子どもの病気、手当」が 1,079 件 (40.4%)と最も多く、次いで「事故相談」の 385 件 (14.4%)、「家族・人間関係」327 件 (12.2%)、「日常生活」の 287 件 (10.7%)、の順で多かった。相談内容の推移から「子どもの病気・手当」「事故相談」「予防接種」といった子どもの病気や体調に関する相談の割合が 24 年度まで年々増加し、合計で 68.6%となっていたが、24 年度に 365 日体制、27 年 1 月に夜間実施時間が延長した『小児救急電話相談 (#8000)』が住民へ浸透したためか、27 年度以降は 6 割弱にとどまっている。(図 7)。

曜日別では、土曜日の「子どもの病気、手当」の相談の割合 51.0%は他の曜日の平均 36.7%と比べ 14.3 ポイント高く特徴的である (資料：表 8)。

### (2) 育児相談の内容について

本年度の育児相談 2,672 件の主な内容について資料：表 9 に示した。

#### 1) 「子どもの病気、手当」1,079 件 (40.4%)

目の前の子どもの症状、病状への対応についてのアドバイス、受診の要否についての相談が多く、熱や鼻汁等のかぜ症状、下痢、嘔吐等の消化器症状、発疹等の皮膚症状、インフルエンザ等の感染症の順に多かった。また、処方された薬の飲ませ方や使い方等の薬に関する相談 25 件も含まれている。その他、猛暑下での熱中症に関する相談も見られた。

<相談例>

- ・ 4 か月児、予防接種実施翌日に 38℃の発熱あり。副反応か。何をすればよいか。
- ・ 6 か月児、便秘で困っている。腹部マッサージや綿棒刺激しても出ない。
- ・ 1 歳児、今までは問題なかったが、卵を食べたら急に発疹が全身に出た。
- ・ 5 歳児、発熱あり、風邪薬と解熱剤をもらったがどのように内服させればよいか。

受診するべきかを問う相談や、どう行動すべきか意思決定をするための相談が多く、「かかりつけ医を受診し、内服薬や坐薬をもらってあるが不安。」といった電話も少なくない。保護者が現状をどう捉えているかをよく聴き、今できていることを認めることも重要である。家庭看護力の低下が指摘されている中、発熱の生理的意味から、“様子を見る”とはどういうことか、受診に切り替えるタイミングまでを十分に説明する等、保護者をエンパワメントできる相談となるよう心掛けている。

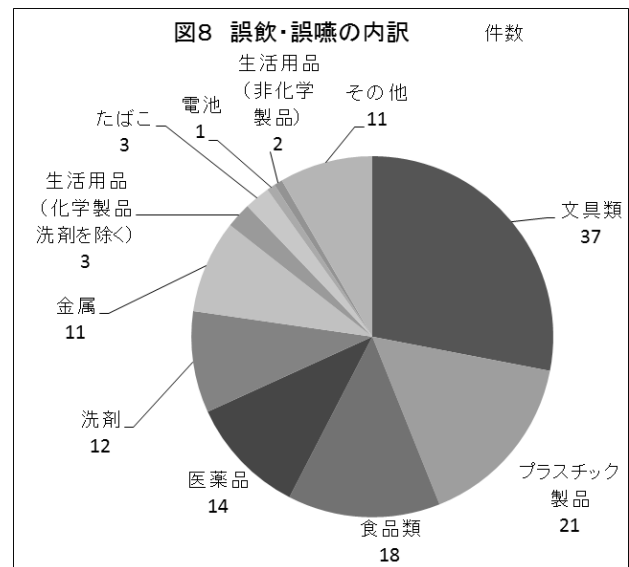
2) 「事故相談」 385 件 (14.4%)

「誤飲・誤嚥」が 132 件 (34.3%) と最も多く、次いで「転落」、「転倒」、「衝突」、「熱傷」と続く (表 9)。また、事故相談全体で 1 歳未満の子どもについての相談が 145 件 (37.7%) を占めていた。

<誤飲・誤嚥>

誤飲・誤嚥も内容により、緊急性が異なる。その内容を図 8 に示す。

・「文具類」37 件中、紙類が 11 件 (29.7%)、ビニール類が 8 件 (21.6%) あった。その他、紙粘土やスタンプのインク等があった。



・「プラスチック製品」21 件中、おもちゃが 9 件 (42.9%)、フォーク、破片が 3 件 (14.3%) ずつ、その他、ペットボトルのラベルやストロー等があった。

・「食品」18 件中、0 歳児で「原料に蜂蜜が含まれている食品を舐めてしまった」ケースが 2 件あった。全体では、魚 (あじ、さば等) の骨が 5 件 (27.8%) と最も多く、酒類、果物、肉が各 2 件 (11.1%)、その他には菓子、ジュース等があった。

・「医薬品」14 件中、1 歳児、2 歳児が 5 件ずつであった。「軟膏等の外用薬を舐めた」が 6 件 (42.9%)、「大人用の薬を誤って与えてしまった」が 5 件 (35.7%)、うち 2 件はトローチの誤飲であった。他に「量を間違え多く内服してしまった」が 3 件 (21.4%) あった。

<転落・転倒>

・「転落」67 件中、ベッド等の家具からが 28 件 (41.8%)、ソファ等を含めた椅子からが 10 件 (14.9%)、階段 6 件 (9.0%) であった。「ソファで寝かせていたら、目を離した際に転落していた」ケース、「ベッドや買い物カートの上で児が立ち上がり転落した」ケース等があった。

・「転倒」62 件中、居室での転倒が 35 件 (56.5%) と最も多く、次いで風呂が 7 件

(11.3%)、道路が 5 件 (8.1%) と続いた。居室では、つかまり立ちや歩き始めでバランスを崩し、床や机に額や顔面をぶつけたケースや、お座りで後ろに倒れて後頭部を打撲したケースがあった。道路では、転倒しコンクリートに頭部を打撲するケースがあった。

<熱傷>

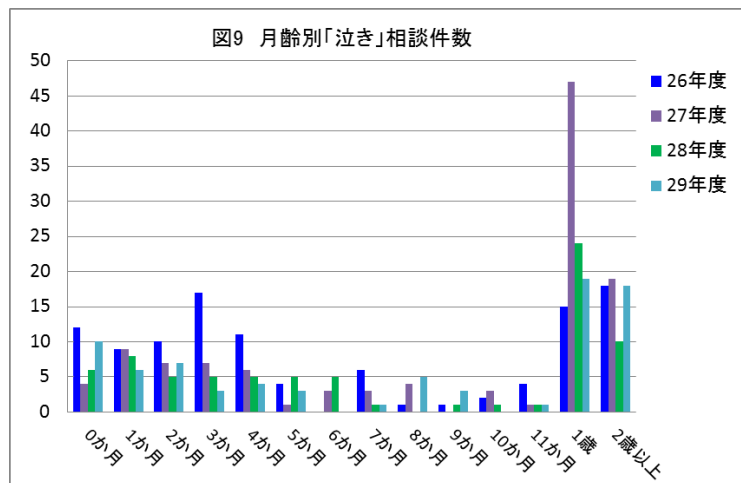
・熱傷 17 件中、0 歳児が 7 件 (41.2%) であった。最も多いのは「卓上のお湯、熱いスープ等」5 件 (29.4%) で、作りたての味噌汁やスープ、コーヒー等であった。次いで、「ポット、炊飯器」(炊飯器、フライパン) が 4 件 (23.5%) であった。水疱があったり、広範囲であったりと、受診を勧めることも少なくない。

事故相談では、保護者の事故に対する焦りや自責の気持ちに寄り添い、状況を的確に捉えて、冷静な対応を促す。乳幼児の事故相談は、環境整備により防ぐことが可能なものが大半である。起こったことを客観的に振り返ることが次の事故の予防となることを啓発する必要がある。

3) 「日常生活」287 件 (10.7%)

「泣き」の相談が 80 件 (27.9%) と最も多く、0 歳児の相談が 43 件 (53.8%) で、そのうち 0～4 か月の相談が 30 件 (69.8%) と多く認められた (図 9)。

『乳幼児揺さぶられ症候群』の予防のためにも、生後 6 週間くらいから見られる夕暮れ泣き (『PURPLE CRYING』) への対応策を早い段階から啓発する必要性が示唆される。



<相談例>

- ・ 2 か月児、起きている時は泣いていることが多く、授乳しても抱っこしても泣く。
- ・ 1 歳 3 か月児、夜泣きが 3 か月ほど続いている。どうしたらいいか。
- ・ 3 歳児、眠たい時などに大泣きになり、手をつけられない。

「トイレトレーニング」に関する相談が 35 件 (12.8%)、「しつけ」28 件 (12.2%)、「睡眠」17 件 (5.9%)、「入浴・清潔」12 件 (4.2%)、「遊び・遊ばせ方」12 件 (4.2%) と続く。

4) 「家族・人間関係」327 件 (12.2%)

「育児不安」が 227 件 (69.4%) で最も多く、次いで「家族内の人間関係」68 件 (20.8%)、「近所との付き合い」25 件 (7.6%) であった。

「育児不安」では、6 か月児の母から「育児はほとんど一人でしてイライラ感強く、もうどうにかなりそう。」という相談や、9 歳の児の母からは「コミュニケーションが上手く取れない子でこちらの伝えたい事が伝わらない。また、子どもの出来ない事の方に目が行ってしまう。」といった様々な相談が持ち込まれている。「家族内の人間関係」では、「夫が育児に非協力的」「夫の親との関係性」に関する相談が多く、「話を聞いて欲しい」との訴えがあった。「近所との付き合い」

では、夜泣き時の近隣住民との付き合い方から、ママ友、同級生の母親等、子どもを介して広がる社会に対するストレスに関する相談が多かった。

これら「家族・人間関係」の相談では、244件(74.6%)が「利用経験あり」で、そのうち68件(27.9%)が7歳以上の子を持つ親または親自身の相談であった。

#### 5) 「授乳」148件(5.5%)

「授乳方法」に関する相談は66件(44.6%)認められ、授乳回数、間隔、量、眠りとの関連等の相談が主であった。

##### <相談例>

- ・ 2か月児、ミルクをよく飲み、体重500g/週増。飲ませすぎだろうか。
- ・ 6か月児、授乳中だが頭痛薬を内服してもよいか。
- ・ 1歳児、断乳をはじめたが、児の泣いている姿を見ると悩む。

次いで、「吐乳, 溢乳」28件(18.9%)、「乳汁を飲まない」14件(9.5%)、「授乳と薬」11件(7.4%)と続く。「授乳と薬」では、体調が悪い辛さに加え、授乳に悩む辛さに寄り添い、根拠に基づいた適切な助言ができるよう努めている。

#### 6) 「食事に関する問題」102件(3.8%)

昨年度から割合は横ばいである。「離乳食・幼児食」が59件(57.8%)で一番多く、次いで「飲まない・食べない」が17件(16.7%)であった。

##### <相談例>

- ・ 6か月児、離乳食は始めているが、夜遅くなって食事を与えてもよいか。
- ・ 10か月児、離乳食を数口しか食べてくれない。イヤイヤをして食べない。
- ・ 3歳児、食事は手づかみで食べこぼしもあり。どのように教えたらよいか。

#### 7) その他

「予防接種」は64件(2.4%)であり、昨年度より0.8ポイント減少した。「副反応」の相談では、肺炎球菌、Hib、B型肝炎、ロタウイルス等の同時接種後の一過性の発熱の相談やインフルエンザワクチン接種後の発赤腫脹についての相談があった。

「虐待・虐待予防」は18件(0.7%)であり昨年度より1.1ポイント減少した。

##### <相談例>

- ・ 1歳児、妻から「子どもを叩いてしまいそう」と連絡が入った。
- ・ 1歳児、児には手を出してはいないが、お皿を投げたり、壁を蹴飛ばしたりした。
- ・ 3歳児、イヤイヤが強く大声で叱ってしまう。
- ・ 3歳児、時々手を上げてしまう。叩いたり蹴ったりもしてしまう。

原則、匿名相談ではあるが、気になるケースについては、相談対象が明確でなくともできる限りの情報を用いて地域連携を行っている。

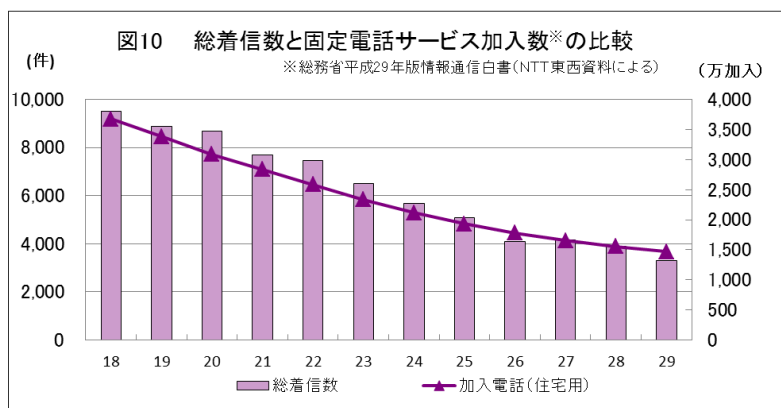


## 6 相談結果について

電話相談は原則匿名で1回の相談での終了が前提となっているため、利用経験がある場合も継続支援とはしておらず、1回で終了としている。

## 7 本年度の相談の結果から

相談件数は平成18年度以降減少傾向にある。総務省の調査では、住宅用固定電話の加入数は平成17年度以降減少している。携帯電話・スマートフォンの普及から、インターネットによる相談にもアクセスが簡便になったことや通話費用負担が大きくなりがちな電話



相談の利用が敬遠される状況であることが推測される。

平成24年度以降、『小児救急電話相談(＃8000)』の住民への浸透に伴い「子どもの病気・手当」「事故相談」が大きく減少しているが、平成29年度は「日常生活」「授乳」等、その他の育児相談についても減少しており、相談日数の変更が影響していると考えられる。

また、相談内容では「家族・人間関係」についての相談割合が年々大きくなっており、「家族・人間関係」の悩みについて身近に相談できる人がいない状況にある相談者が増えている状況が懸念される。相談記録からは「誰かに話を聞いて欲しい」との訴えも多く、『育児もしもしキャッチ』は育児で困っている親の不安や心配、うまくいかない苛立ちを受け止める窓口としての大きな役割を担っている。

## 8 まとめ

本事業は平成13年11月のセンター開設と同時に開始され、関係機関からも高い認知度と期待を受けて運営されてきた。社会の育児問題が反映されており、ニーズ把握に役立てることができる貴重な機会でもある。県内の小児保健の中核的支援機能を有する当センターの保健事業のひとつとして、今後も継続する必然性がある。

表1 市町村別の利用状況

	市町村	件数	出生 1,000対	H28 出生数		市町村	件数	出生 1,000対	H28 出生数
1	名古屋市	780	39.9	19,542	30	阿久比町	19	59.4	320
2	一宮市	111	37.2	2,981	31	瀬戸市	18	22.9	787
3	大府市	109	111.2	980	32	東浦町	18	42.8	421
4	刈谷市	107	65.4	1,637	33	岩倉市	18	38.1	473
5	岡崎市	105	29.4	3,577	34	津島市	17	47.8	356
6	安城市	103	56.4	1,827	35	幸田町	17	41.4	411
7	豊田市	94	25.3	3,709	36	東郷町	16	40.6	394
8	春日井市	92	32.5	2,828	37	江南市	15	21.6	695
9	豊橋市	88	28.8	3,052	38	武豊町	14	37.1	377
10	蟹江町	88	303.4	290	39	弥富市	14	42.9	326
11	豊川市	72	46.4	1,553	40	尾張旭市	12	17.8	674
12	日進市	70	67.7	1,034	41	扶桑町	12	45.6	263
13	東海市	56	46.2	1,213	42	常滑市	11	22.2	496
14	清須市	53	72.6	730	43	愛西市	8	23.6	339
15	田原市	48	93.0	516	44	大口町	8	34.3	233
16	西尾市	47	34.8	1,352	45	大治町	7	20.7	338
17	半田市	42	44.6	941	46	犬山市	7	14.7	476
18	長久手市	40	59.8	669	47	新城市	5	18.1	276
19	稲沢市	38	34.4	1,104	48	豊山町	5	32.5	154
20	小牧市	36	32.0	1,126	49	美浜町	3	24.2	124
21	知立市	36	51.4	701	50	南知多町	1	12.2	82
22	北名古屋市	32	34.9	918	51	飛島村	0	0.0	22
23	みよし市	32	55.0	582	52	設楽町	0	0.0	18
24	豊明市	29	54.1	536	53	東栄町	0	0.0	16
25	知多市	26	44.5	584	54	豊根村	0	0.0	7
26	碧南市	25	45.5	549		県内不明	19		
27	高浜市	25	58.3	429		愛知県下 (含名古屋市)	2,673	41.6	64,226
28	あま市	24	35.8	670		他県	22		
29	蒲郡市	20	38.6	518		不明	113		
						合計	2,808		

表2 年度別経路

経路	利用経験あり	市町村(保健福祉)	母子健康手帳	医療機関	保健所	友人・知人	ホームページ	子育て支援センター	院内	幼稚園・保育園等	学校	児童相談センター	その他	不明	計
14年度※	105	2,492	128	328	475	66	25	37	53	52	3	19	155	908	4,846
	(2.2)	(51.4)	(2.6)	(6.8)	(9.8)	(1.4)	(0.5)	(0.8)	(1.1)	(1.1)	(0.1)	(0.4)	(3.2)	(18.7)	(100.0)
15年度	501	2,500	322	63	667	113	36	16	8	667	49	16	204	430	5,488
	(9.1)	(45.6)	(5.9)	(1.1)	(12.2)	(2.1)	(0.7)	(0.3)	(0.1)	(12.2)	(0.9)	(0.3)	(3.7)	(7.8)	(100.0)
16年度	2,290	1,414	517	377	565	119	74	35	80	21	5	10	220	448	6,175
	(37.1)	(22.9)	(8.4)	(6.1)	(9.1)	(1.9)	(1.2)	(0.6)	(1.3)	(0.3)	(0.1)	(0.2)	(3.6)	(7.3)	(100.0)
17年度	3,124	854	661	303	376	102	76	24	69	19	11	7	175	677	6,478
	(48.2)	(13.2)	(10.2)	(4.7)	(5.8)	(1.6)	(1.2)	(0.4)	(1.1)	(0.3)	(0.2)	(0.1)	(2.7)	(10.5)	(100.0)
18年度	3,652	821	611	343	340	118	81	43	32	6	4	9	121	554	6,735
	(54.2)	(12.2)	(9.1)	(5.1)	(5.0)	(1.8)	(1.2)	(0.6)	(0.5)	(0.1)	(0.1)	(0.1)	(1.8)	(8.2)	(100.0)
19年度	3,429	821	666	379	387	120	112	35	45	7	2	4	52	412	6,471
	(53.0)	(12.7)	(10.3)	(5.9)	(6.0)	(1.9)	(1.7)	(0.5)	(0.7)	(0.1)	(0.0)	(0.1)	(0.8)	(6.4)	(100.0)
20年度	3,276	796	665	315	383	80	129	40	35	3	3	3	74	492	6,294
	(52.0)	(12.6)	(10.6)	(5.0)	(6.1)	(1.3)	(2.0)	(0.6)	(0.6)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(1.2)	(7.8)	(100.0)
21年度	3,180	832	725	297	382	84	135	23	13	7	4	3	52	416	6,153
	(51.7)	(13.5)	(11.8)	(4.8)	(6.2)	(1.4)	(2.2)	(0.4)	(0.2)	(0.1)	(0.1)	(0.0)	(0.8)	(6.8)	(100.0)
22年度	3,027	743	711	240	385	68	122	27	9	8	4	4	41	571	5,960
	(50.8)	(12.5)	(11.9)	(4.0)	(6.5)	(1.1)	(2.0)	(0.5)	(0.2)	(0.1)	(0.1)	(0.1)	(0.7)	(9.6)	(100.0)
23年度	2,725	828	730	250	295	68	113	29	18	10	2	1	39	380	5,488
	(49.7)	(15.1)	(13.3)	(4.6)	(5.4)	(1.2)	(2.1)	(0.5)	(0.3)	(0.2)	(0.0)	(0.0)	(0.7)	(6.9)	(100.0)
24年度	2,509	762	671	201	158	53	167	32	31	2	1	0	31	305	4,923
	(51.0)	(15.5)	(13.6)	(4.1)	(3.2)	(1.1)	(3.4)	(0.7)	(0.6)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.6)	(6.2)	(100.0)
25年度	2,335	602	632	117	134	41	196	24	28	9	3	2	26	312	4,461
	(52.3)	(13.5)	(14.2)	(2.6)	(3.0)	(0.9)	(4.4)	(0.5)	(0.6)	(0.2)	(0.1)	(0.0)	(0.6)	(7.0)	(100.0)
26年度	2,027	460	537	113	126	14	197	17	22	2	2	0	31	225	3,773
	(53.7)	(12.2)	(14.2)	(3.0)	(3.3)	(0.4)	(5.2)	(0.5)	(0.6)	(0.1)	(0.1)	(0.0)	(0.8)	(6.0)	(100.0)
27年度	1,975	431	509	80	77	27	244	14	9	4	0	0	22	275	3,667
	(53.9)	(11.8)	(13.9)	(2.2)	(2.1)	(0.7)	(6.7)	(0.4)	(0.2)	(0.1)	(0.0)	(0.0)	(0.6)	(7.5)	(108.2)
28年度	1,761	376	503	65	50	17	293	14	6	2	3	1	18	281	3,390
	(51.9)	(11.1)	(14.8)	(1.9)	(1.5)	(0.5)	(8.6)	(0.4)	(0.2)	(0.1)	(0.1)	(0.0)	(0.5)	(8.3)	(100.0)
29年度	1,433	329	420	52	51	8	275	9	7	0	0	1	3	220	2,808
	(51.0)	(11.7)	(15.0)	(1.9)	(1.8)	(0.3)	(9.8)	(0.3)	(0.2)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.1)	(7.8)	(100.0)

※13年11月から15年3月までの集計値

表3 相談者の続柄

続柄	件数	割合
母	2,534	90.2%
本人	140	5.0%
父	113	4.0%
祖父母等	12	0.4%
配偶者	1	0.0%
きょうだい	0	0.0%
専門家等	0	0.0%
その他	3	0.1%
不明	5	0.2%
合計	2,808	100.0%

表4 相談対象者

	件数	割合
子ども	2,646	94.2%
本人	141	5.0%
孫・甥・姪等	12	0.4%
配偶者	1	0.0%
きょうだい	0	0.0%
患者等	0	0.0%
その他	2	0.1%
不明	6	0.2%
総計	2,808	100.0%

表5 時間帯と所要時間

所要時間	17時台	18時台	19時台	20時台	不明	合計
5分未満	119	136	124	98	4	481
	14.3%	19.2%	18.7%	16.6%	0.0%	17.1%
5～14分	429	367	347	352	4	1,499
	51.4%	51.8%	52.3%	59.6%	0.0%	53.4%
15～29分	186	161	129	122	0	598
	22.3%	22.7%	19.4%	20.6%	0.0%	21.3%
30～44分	73	28	46	17	1	165
	8.7%	4.0%	6.9%	2.9%	0.0%	5.9%
45～59分	19	13	10	1	1	44
	2.3%	1.8%	1.5%	0.2%	0.0%	1.6%
60分以上	9	3	8	1	0	21
	1.1%	0.4%	1.2%	0.2%	0.0%	0.7%
全体	835	708	664	591	10	2,808
	29.7%	25.2%	23.6%	21.0%	0.4%	100.0%

表6 曜日別状況

	件数						
	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	月曜日	全体
H15年度以前	2,802	3,162	3,341	3,037	502	1,684	14,492
	19.3%	21.8%	23.1%	21.0%	3.5%	11.6%	100.0%
H16年度	1,264	1,423	1,349	1,277	862		6,175
	20.5%	23.0%	21.8%	20.7%	14.0%		100.0%
H17年度	1,359	1,438	1,349	1,267	1,065		6,478
	21.0%	22.2%	20.8%	19.6%	16.4%		100.0%
H18年度	1,289	1,425	1,506	1,320	1,195		6,735
	19.1%	21.2%	22.4%	19.6%	17.7%		100.0%
H19年度	1,221	1,480	1,395	1,262	1,113		6,471
	18.9%	22.9%	21.6%	19.5%	17.2%		100.0%
H20年度 (1日平均件数)	1,160 (27.6)	1,365 (27.9)	1,406 (27.6)	1,223 (24.5)	1,137 (22.3)		6,294 (25.9)
	18.4%	21.7%	22.3%	19.4%	18.1%		100.0%
H21年度 (1日平均件数)	1,159 (27.0)	1,321 (27.5)	1,301 (27.1)	1,255 (24.6)	1,117 (21.9)		6,153 (25.5)
	18.8%	21.5%	21.1%	20.4%	18.2%		100.0%
H22年度 (1日平均件数)	1,163 (25.8)	1,239 (25.3)	1,290 (26.9)	1,191 (23.8)	1,077 (21.1)		5,960 (24.5)
	19.5%	20.8%	21.6%	20.0%	18.1%		100.0%
H23年度 (1日平均件数)	1,055 (23.4)	1,165 (22.8)	1,149 (23.4)	1,056 (21.6)	1,063 (20.8)		5,488 (22.4)
	19.2%	21.2%	20.9%	19.2%	19.4%		100.0%
H24年度 (1日平均件数)	946 (19.7)	1,033 (20.7)	1,107 (22.1)	871 (17.4)	966 (18.9)		4,923 (19.8)
	19.2%	21.0%	22.5%	17.7%	19.6%		100.0%
H25年度 (1日平均件数)	791 (19.3)	966 (18.9)	968 (19.0)	842 (17.2)	894 (17.2)		4,461 (18.3)
	17.7%	21.7%	21.7%	18.9%	20.0%		100.0%
H26年度 (1日平均件数)	642 (15.3)	784 (16.0)	868 (17.0)	704 (13.8)	775 (15.2)		3,773 (15.5)
	17.0%	20.8%	23.0%	18.7%	20.5%		100.0%
H27年度 (1日平均件数)	644 (15.0)	750 (15.6)	787 (16.1)	691 (13.5)	795 (15.6)		3,667 (15.2)
	17.6%	20.5%	21.5%	18.8%	21.7%		100.0%
H28年度 (1日平均件数)	637 (14.8)	736 (15.3)	718 (14.7)	647 (12.7)	652 (12.8)		3,390 (14.0)
	18.8%	21.7%	21.2%	19.1%	19.2%		100.0%
H29年度 (1日平均件数)		736 (15.0)	774 (15.2)	615 (12.1)	683 (13.4)		2,808 (11.6)
		26.2%	27.6%	21.9%	24.3%		100.0%

表7 相談分類

	件数	割合
育児相談	2,672	95.2%
母性相談	59	2.1%
家族の心と体の相談	20	0.7%
思春期相談	16	0.6%
その他	41	1.5%
合計	2,808	100.0%

表8 育児相談の曜日別状況

内容	全体		内訳							
			水曜日		木曜日		金曜日		土曜日	
子供の病気、手当	1,079	40.4%	261	36.7%	290	39.6%	193	33.8%	335	51.0%
事故相談	385	14.4%	90	12.7%	105	14.3%	91	15.9%	99	15.1%
家族・人間関係	327	12.2%	104	14.6%	103	14.1%	79	13.8%	41	6.2%
日常生活	287	10.7%	89	12.5%	88	12.0%	59	10.3%	51	7.8%
授乳	148	5.5%	24	3.4%	41	5.6%	39	6.8%	44	6.7%
性格、行動、社会性	106	4.0%	34	4.8%	26	3.5%	24	4.2%	22	3.3%
食事に関する問題	102	3.7%	32	4.5%	26	3.5%	23	4.0%	21	3.2%
予防接種	64	3.1%	19	2.7%	11	1.5%	20	3.5%	14	2.1%
発育・発達	63	3.1%	20	2.8%	12	1.6%	13	2.3%	18	2.7%
教育	67	2.5%	24	3.4%	14	1.9%	21	3.7%	8	1.2%
虐待・虐待予防	18	0.7%	7	1.0%	6	0.8%	3	0.5%	2	0.3%
アレルギーに関する問題	17	0.6%	3	0.4%	9	1.2%	3	0.5%	2	0.3%
社会資源の活用	3	0.1%	1	0.1%	0	0.0%	2	0.4%	0	0.0%
SIDS相談	1	0.0%	0	0.0%	1	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	5	0.2%	3	0.4%	1	0.1%	1	0.2%	0	0.0%
計	2,672	100.0%	711	26.6%	733	27.4%	571	21.4%	657	24.6%



編集	あいち小児保健医療総合センター 保健センター保健室 〒474-8710 大府市森岡町七丁目 426 番地 TEL 0562-43-0500 内線 4043
発行	平成30年5月